



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年2月10日
上場取引所 東

上場会社名 扶桑薬品工業株式会社
コード番号 4538 URL <https://www.fuso-pharm.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 戸田 幹雄
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務本部長(兼)経理部長 (氏名) 高橋 貞雄 (TEL) 06-6969-1131
 四半期報告書提出予定日 2023年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	39,219	2.5	1,965	1.8	2,060	2.7	1,493	△0.1
2022年3月期第3四半期	38,271	0.2	1,930	△18.5	2,006	△13.1	1,495	△10.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	170.30	—
2022年3月期第3四半期	170.44	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	72,994	35,567	48.7
2022年3月期	69,334	34,532	49.8

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 35,567百万円 2022年3月期 34,532百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
2023年3月期	—	30.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	40.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2023年3月期の業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,000	0.7	1,900	△1.2	1,900	△4.8	1,400	△5.6	159.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年3月期3Q	9,451,169株	2022年3月期	9,451,169株
2023年3月期3Q	680,515株	2022年3月期	679,242株
2023年3月期3Q	8,771,278株	2022年3月期3Q	8,772,465株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が本資料発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(会計方針の変更)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が続くなか、行動制限の緩和などにより社会経済活動の正常化への動きがみられましたが、ウクライナ情勢の長期化に伴う資源・原材料価格の高騰、急激な円安の進行に伴う物価上昇など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

医薬品業界では、薬価制度改革をはじめとして後発医薬品の使用促進策の強化など、医療費適正化諸施策が引き続き推進されており、経営のさらなる強化が求められるなか、研究開発費の増加、開発リスクの増大など収益環境の厳しさが増しております。

このような状況のもと、当社は、主力製品の人工腎臓用透析剤キンダリーなど人工透析関連製商品及び輸液などのより強固な浸透を図るとともに、後発医薬品の販売促進にも注力してまいりました。

その結果、当第3四半期累計期間の業績につきましては、売上高は後発医薬品の販売増等により392億19百万円と前年同四半期と比べ9億48百万円(2.5%)の増加となりました。利益面につきましては、営業利益は19億65百万円と前年同四半期と比べ35百万円(1.8%)の増加、経常利益は20億60百万円と前年同四半期と比べ53百万円(2.7%)の増加となりましたが、四半期純利益は14億93百万円と前年同四半期と比べ1百万円(0.1%)の減少となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末の総資産は、建物及び構築物(純額)の減少等があったものの、現金及び預金や受取手形及び売掛金、原材料及び貯蔵品の増加等により前事業年度末から36億59百万円(5.3%)増加し、729億94百万円となりました。

負債は賞与引当金の減少等があったものの、支払手形及び買掛金や電子記録債務、短期及び長期借入金の増加等により前事業年度末から26億24百万円(7.5%)増加し、374億26百万円となりました。

純資産は自己株式の取得による減少等があったものの、利益剰余金及びその他有価証券評価差額金の増加により前事業年度末から10億35百万円(3.0%)増加し、355億67百万円となりました。

なお、自己資本比率は48.7%と前事業年度末に比べ1.1%の減少となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の通期業績予想につきましては、現時点では2022年11月9日に公表いたしました業績予想から変更はありません。今後、業績予想を修正する必要がある場合は、速やかに開示してまいります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,347	8,148
受取手形及び売掛金	21,152	23,391
商品及び製品	8,907	9,273
仕掛品	32	58
原材料及び貯蔵品	1,571	2,114
その他	775	1,048
流動資産合計	39,787	44,034
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,258	8,757
土地	8,818	8,818
その他(純額)	5,715	6,038
有形固定資産合計	23,792	23,615
無形固定資産	453	349
投資その他の資産	5,300	4,995
固定資産合計	29,546	28,960
資産合計	69,334	72,994
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,100	6,941
電子記録債務	7,128	8,052
短期借入金	5,935	6,449
未払法人税等	137	181
賞与引当金	910	450
その他の引当金	23	-
その他	6,140	6,631
流動負債合計	26,375	28,707
固定負債		
長期借入金	5,758	6,121
退職給付引当金	910	884
その他の引当金	210	166
その他	1,547	1,547
固定負債合計	8,426	8,719
負債合計	34,802	37,426

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2022年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,758	10,758
資本剰余金	15,009	15,009
利益剰余金	14,731	15,699
自己株式	△2,170	△2,173
株主資本合計	38,329	39,293
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	838	909
土地再評価差額金	△4,635	△4,635
評価・換算差額等合計	△3,796	△3,726
純資産合計	34,532	35,567
負債純資産合計	69,334	72,994

(2) 四半期損益計算書
第3四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	38,271	39,219
売上原価	27,889	28,588
売上総利益	10,382	10,631
販売費及び一般管理費	8,451	8,665
営業利益	1,930	1,965
営業外収益		
受取利息及び配当金	81	88
投資有価証券売却益	-	138
受取保険金	118	82
投資事業組合運用益	68	-
その他	39	40
営業外収益合計	306	350
営業外費用		
支払利息	134	125
生命保険料	74	74
その他	22	55
営業外費用合計	230	255
経常利益	2,006	2,060
特別損失		
固定資産除却損	10	7
特別損失合計	10	7
税引前四半期純利益	1,996	2,053
法人税、住民税及び事業税	217	329
法人税等調整額	284	230
法人税等合計	501	559
四半期純利益	1,495	1,493

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。

なお、四半期財務諸表に与える影響はありません。